



香美史 探訪記

第31回 室町末期の佐岡村 (土佐山田町本村)

室町時代には、土佐山田町佐岡に土居城があった。東に後入川、西に仁井田川の要害があり、現在の佐岡小学校の前になる。

1550年頃、楠目城の山田氏が亡んだ後、長宗我部国親の家臣広井俊将が、上野田(南国市)から移つて、

葦生郷方面への守りを固めたと言われている。広井氏の住居は、土居構城と呼ばれ、外堀と内堀の一部が残り、大正末期頃まで水がたまっていたといわれるので、水濠でもあったと思われる。詰ノ段に土塁の一部が残り、軍の守り神であった八幡宮が鎮座している。

旧佐岡村を小字や長宗我部地検帳から室町時代末期の様子を考察してみると、城の中心詰ノ段は御所ノ内とあるので、山田氏の支城と位置付けら



土居城跡



れていたと思われる。東佐岡の星神社前の葦生往還を北東に行くと、遅越村があって、名本屋敷があり屋地1町1反7畝(約11,600㎡)内1反5畝余の茶ヤシキがある。ここは茶室や茶の栽培地であったろうか。山田氏は物部川上流部から主として木材を搬出し、上方方面に売りさばき、経済的に裕福となって貴族的文化を好み、大坂堺から茶湯(茶道)も伝わったといわれているので、臣下にもたしなんだ者がいたと想像される。

御所ノ内ノ東に弓場があり、現在はイバと呼ばれる水田になっている。小字マトヲデンが、佐野住吉池の西、大平分にあり、水田4,500㎡と山林から成っている。「マトヲデン=的田」からの収穫は、お弓祭や百手祭などの祭礼に使われたか、弓場の維持管理費に充てられたかもしれない。「〇〇田」とは、社殿の維持管理や祭礼の費用に充てる水田で、神楽田、薬師田、神田などがある。(香美史談会)

歴史遺産を少し紹介します。中国三大石窟の龍門、雲崗、莫高窟の一つ目、493年、北魏が洛陽に遷都した時代に建築が始まった龍門石窟寺院があります。大きい石仏のやさしい笑みに出会ってください。また仏教が中国に伝えられてから最初にできた白馬寺、三国時

私は高知工科大学大学院工学研究科博士後期課程の1年生です。浜村研究室で無線通信システムを研究しています。今日は私の故郷、洛陽を紹介したいと思います。洛陽は古代王朝の首都でした。黄河の中流にあり、東に虎牢関、西に函谷関があります。古くから、兵家必争の地であり、歴代の帝王が、都を建てようと考えた土地だったそうです。洛陽は川が多いし山もあるのですが、景色はとても美しいです。気候は、四季がはっきりしています。

洛陽は古代王朝の首都でした。黄河の中流にあり、東に虎牢関、西に函谷関があります。古くから、兵家必争の地であり、歴代の帝王が、都を建てようと考えた土地だったそうです。洛陽は川が多いし山もあるのですが、景色はとても美しいです。気候は、四季がはっきりしています。

ただいま留学中 (中国・河南省洛陽市) 李迎松



私は日本に来る前から、日本の流行歌が好きでしたが、歌う機会がありません。高知に来てから、先生と研究室の学生にいろいろ助けていただき、感謝しています。香美市の皆さんは親切で、感動しています。これからもよろしくお願ひします。

代の蜀の大将関羽の衣冠が埋められている関林廟などもあります。洛陽人は毎年4月に牡丹花会を開き、花見を楽しみます。則天武后が牡丹を焼く命令を出したが、洛陽牡丹は焼かれれば焼かれるほどきれいになったという逸話をご存じの方も多いでしょう。高知の司牡丹も有名ですね。

掲示板

市民のひろば

◆地域ケアシンポジウム 南海地震！頼りになるのは地域の絆

【日時】2月11日(土・祝) 13時~16時30分 【場所】のいちふれあいセンター(香南市野市町) 【定員】先着500名 【問い合わせ先】県中央東福祉保健所地域支援室 53・0298 http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130112/

◆骨髄バンクドナー登録会 骨髄バンクはあなたの登録を待っています

【対象】18歳から54歳以下で健康な方 【内容】骨髄・抹消血幹細胞の提供について説明します。登録は2ミリの採血です。完了します。後日HLAが適合すると、提供の意志を確認させていただき、手続きが始まります。 ※献血の際にもドナー登録ができます。 【問い合わせ先】高知県骨髄バンク推進協議会 川添 090・3783・0115

おたんじょうび おめでとう

今月満1~3歳の誕生日を迎えるお子さんを紹介します。

掲載を希望される方はお問い合わせください。締切日は誕生日の前月1日まで。 問 総務課 53-3112 ※◎は土佐山田町、◎は香北町、◎は物部町です。

まちの声



作:鳴録 ウノタ (山田高校マンガ部)

◆生活保護について 私がまちで聞くことは、生活保護はどんなに努力しても生活ができない人のための制度ですが、悪用したり、求職活動もしないとか、保護費を真の生活費以外に使い、有効に使っていない者がいるとの声です。 当市内にはそんな人はいないと思いますが、生活保護は正しく受給し、有効に使ってほしいのは当然だと思います。

編集後記

恒例の特集「年賀はがき」今回もたくさんのご応募ありがとうございました。選考を行った広報委員さんは「あれもいっしょにこれもいっしょ」と、選考に頭を悩ませていました。1月号を入稿する12月21日現在。自分の年賀はまだ手付かず。(細木) ▼平成23年を振り返ってみると、4月から広報の仕事に関わり始めて、慣れない仕事も多くあり、大変でした。新年はもっと積極的に取材や撮影を頑張りたいです。それと、記事編集中の誤字脱字にも気をつけなければ... (公文)